

国立精神・神経医療研究センター（NCNP）バイオバンクにご協力いただいた方へ

2025 年 10 月 14 日

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、創薬デザイン研究センター、創薬標的プロテオミクスプロジェクトでは、神経変性疾患マーカー及び治療標的の探索を目的として、国立精神・神経医療研究センター（NCNP）バイオバンクに保管されている試料・情報を、下記研究課題に使用させていただきます。その概要を記載いたしますので、この研究課題についてご質問・ご相談等がございます場合、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

ご自身が提供された試料・情報をこの研究課題に対して利用・提供してほしくないと思われた場合にも、問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた際は、その試料・情報の利用を停止します。

研究課題名

神経変性疾患マーカー及び治療標的の探索

研究責任者

足立 淳：医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬デザイン研究センター
創薬標的プロテオミクスプロジェクト プロジェクトリーダー

本研究の目的

最近の質量分析計の進歩により、血液や尿などの体液中の微量なタンパク質の同定が可能となっています。体液中には細胞外小胞（EV）という細胞から分泌される小器官が存在することが知られていますが、近年EVは細胞間のコミュニケーションの仲介者として働くことが注目されているだけでなく、種々の病気の発症や進展に関わると言われ、バイオマーカー候補を多く含んでいると考えられています。本研究では神経変性疾患及び健常者の血液試料（血清・血漿）からEVタンパク質を抽出し、更に脳などの組織由来EVを精製し、プロテオーム解析を行うことで神経変性疾患の診断、治療効果を予測するバイオマーカー開発、治療標的探索に資する情報を取得することを目的としています。

研究実施期間

この研究課題の研究期間は理事長許可日から 2030 年 3 月 31 日までです。

利用又は提供を開始する予定日

2025 年 11 月 1 日

研究の方法

【研究対象者】

国立精神・神経医療研究センター (NCNP) を受診され、パーキンソン病、アルツハイマー型認知症、軽度認知障害、その他の認知症と診断された方で、NCNP バイオバンクへの試料情報提供を同意された方、および健常ボランティアの方で、NCNP バイオバンクにご参加いただき試料をご提供いただいた方

【本研究課題で利用する試料・情報の項目】

脳脊髄液や血液および、背景情報(年齢、性別、既往歴、脳脊髄液・血液検査データ)、画像情報、病理診断、薬歴及び治療歴、副作用情報、予後情報を用いて、診断・薬効予測マーカーなどの診療情報を参照します。なお、これらの情報のうち、健常者については、年齢、性別、既往歴、薬歴及び治療歴のみ参照します。これらの試料・情報は医薬基盤・健康・栄養研究所で保管・管理を行います。

試料・情報の提供について

試料は宅急便ないし日本郵便で郵送し、情報はメールもしくはクラウド経由で医薬基盤・健康・栄養研究所に送られます。

個人情報の取り扱い

個人情報は匿名化されるため、医薬基盤・健康・栄養研究所では、個人情報は扱いません。また、研究成果を学会や論文等で公表する際にも、個人が特定できないようにします。

研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

お問い合わせ先

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬標的プロテオミクスプロジェクト 足立 淳
〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8
電話：072－641－9862

試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

国立精神・神経医療研究センター理事長 中込 和幸

試料・情報の管理を行う機関の名称及びその長の氏名

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長 中村祐輔